



私の

# 東京物語

全 10 話 10

知事退任後の二〇〇六年秋、再び東京へ戻りました。翌年から全国比例区の参議院議員を二年間、二〇〇九年から三年間は兵庫県第八区で衆議院議員を務めます。

妻の恵と結婚したのは、知り合ってから十四年後の二〇一〇年秋です。選挙区だった、人情味と正義感の街として知られる尼崎中央商店街のペットショップで、トイプードルの愛娘ロッタと巡り合ったのも同年でした。

超少子・超高齢社会ニッポンは、量の拡大から質の充実へと転換すべき。なのに、量の維持こそ日本の原動力と真顔で語る人々がいます。日露戦争前後の日本は五千万人にも満たなかったにもかかわらず。

## 「社会的な物語」紡ぎたい



愛犬のロッタちゃんと

イタリアやフランスと同規模の人口六千万人台でも持続可能な質の深化を目指してこそ、富国強兵ならぬ富国裕民の日本ではないでしょうか。五十年代となった「なんくり」の登場人物たち。そこに今回はヤスオも加わる、昨年末に出版した「33年後のなんとなく、クリスタル」のテーマでもあります。

知事時代に僕は「県民益」という言葉を掲げました。県益が権益となつてはならぬ、との思いから。同様に国益も本来は、国民益であるはず。野間宏さんや江藤淳さんの足元にも及びませんが、これからも「社会的な物語」を、さまざまなフィールドで紡ぎ出せればと願っています。

(作家)

今回の筆者は、下北沢のジャズバー「レディ・ジェーン」マスターの大木雄高さんです。